

平成 29 年度 教 育 課 程 表

生駒市立桜ヶ丘小学校

I 教育目標

(1) 学校教育目標及び重点目標（課題）

(1) 本校教育の目標

教育基本法に則り，個人の人格の完成と平和的な国家及び社会の形成者としての国民を育成することをめざす。

そのために人権尊重の精神を基盤に，自ら学び自ら考え，心豊かにたくましく生きる，知・徳・体の調和のとれた子どもを育てる。

『夢の実現に向かって努力し，共に学ぶ喜びを味わえる子の育成』

————— 自立と共生 —————

めざす児童像

- ・深く考える子・・・「確かな学力」
- ・明るくやさしい子・・・「豊かな心」
- ・心身ともにたくましい子・・・「健やかな体」

めざす学校像

- ・明るく伸びていく学校
- ・静かで躍動する学校
- ・美しい環境を求める学校
- ・学びの意欲にあふれた学校
- ・地域に開かれた学校

めざす教師像

- ・教育愛に満ちた教師
- ・教育者としての使命感あふれる教師
- ・研修を積み，実践的指導力に富む教師
- ・児童・保護者や地域の信頼に応える教師

(2) 学校経営方針（学校教育目標を達成するための基本方針）

重点目標

- ◎人生や社会を自ら切り開いていくための「生きる力」を身につけさせると同時に、子どもたちに夢を与え、そして夢を実現できる力を身につけさせる。そのために、「確かな学力」と「豊かな心」「健やかな体」を育む教育を進める。
- ◎自尊心を高め、自分のよさや個性の伸長を図り、互いを認め合い、支え励まし合い、仲間と共に生きる心豊かな児童の育成及び集団の育成に努める。
- ◎お互いを理解し合うための表現力やコミュニケーション能力の育成を図り、伝え合う力を育てる。
- ◎家庭と地域社会との連携・協力を図り、地域に開かれた学校づくりに努める。

(1) 心豊かな児童の育成

- ・人と人、人との、自然とのかかわりを通し、他者を思いやり認め合う心、生命や人権を尊重する実践的態度を育成する。
（一人ひとりがかげがえのない存在であることを自覚し、自らの生活を振り返り、自分の生活に対する見方、考え方を育て、さらに向上しようとする意欲や態度を養う。）
- ・家庭や地域の絆、つながりの大切さに気づかせ、家庭・地域を大切にすることを育成する。

(2) 確かな学力を育てる指導に努める。

- ・基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。
- ・自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考える力の育成を図る。
- ・全教育活動において、コミュニケーション能力の育成を図る。
- ・分かる喜び、学ぶ楽しさが味わえ、成就感を体得できる指導の研究に努める。
- ・問題解決的な学習や体験的な学習、情報活用能力を高める学習（コンピュータや図書資料等を使った学習）及び英語活動、音楽活動、読書活動のより一層の充実を図る。

(3) 心身ともにたくましい児童の育成

- ・体力向上に向け、進んで運動に親しむ意欲と態度を育成する。
- ・健康教育・食育を計画的に推進し、健康でたくましい児童を育成する。
- ・児童一人ひとりの安全意識を高め、災害や事故等の危険から自ら身を守っていけるよう、安全教育の充実を図るとともに、家庭や地域社会との連携に努める。

<学校評価の主な取組内容>

☆学校評価委員会、学校関係者評価委員会を設置し、学校改善に生かすための学校評価の作成及び改善方策を探り、学校評価を行う。

○学校評価の結果の公表などを通して、家庭や地域と連携・協力して、教育活動を展開し、開かれた学校づくりを推進する。

- ・本校の教育活動の中から、教職員の評価項目と関連付けた児童・保護者アンケートを実施し、さらに、課題や改善点を明確にし、教育活動の一層の充実を図る。
- ・学校運営についての情報発信をさらに進める。（校長通信、ホームページ、各学年・学級通信、学習参観・懇談、学校・地域連携会議、地域ぐるみ推進委員会を通して、教育情報を知らせる。）

II 指導の重点

(1) 各教科，道徳，外国語活動，総合的な学習の時間，特別活動

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの興味を引くような言語活動を設定し、「話す・聞く力」を身に付けさせる。また、「書く力」をつけるため、題材設定を工夫する。 ・読書を通して、広くいろいろな世界を知るとともに豊かな心を育てる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的な学習を進めるために、学習過程を「ふれる・つかむ・むかう・つなぐ」と設定する。また、地域教材を開発し地域の良さを実感させる。 ・様々な資料やコンピュータから調べた事柄からさらに考えさせ、社会を見る目や社会を生き抜く知恵を育てる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・算数的活動を通して、計算能力を高めるとともに、見通しを持ち、筋道を立てて考え、表現する能力を育てる。 ・子どもの生活体験や知的好奇心に訴えるような課題提示を工夫する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に親しみ、見通しを持って観察・実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てる。 ・自ら進んで自然の事物・現象に働きかけ、具体的な体験を通して理解させることにより、科学的な見方や考え方を養う。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・「見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる」などの具体的な活動や体験を積み上げ、問題を発見し、解決へと向かう力を育てる。 ・自分と身近な人や社会・自然との関わりのなかで自立への基礎を養う。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や器楽演奏などの表現活動、鑑賞、詞や曲の創作などさまざまな活動を通して、子どもの豊かな心情や感性を育てる。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・表現や鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わわせる。 ・創造活動の基礎的な能力を育て、豊かな情操を養う。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・衣・食・住に関する実践的な活動を通して家庭生活への関心を高め、さらに、家族の一員として生活をよりよくしようとする態度を育てる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態を的確に把握し、運動好きな子どもを育てる授業の工夫をする。 ・心身の健康の保持・増進を図る態度や習慣を身に付けさせる。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の身近な体験を学習資料として取り上げ、相手の立場に立って考えさせたり、自分自身の問題として考えさせたりする。さらに、学んだ道徳的価値を実践していく場の設定をし、実践的態度の育成を図る。
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・横断的・総合的な学習や探求的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。 ・学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的・創造的・協働的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい集団生活を通して、協力してよりよい生活や人間関係を築こうとする主体的・実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を育てる。 ・集団の一員としての役割を自覚し、進んで奉仕する態度を育てる。

(2) 人権教育，特別支援教育，生徒指導

人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重の精神に徹し、一人ひとりの悩みや願いを大切にし、自分の問題として考え、支え励まし合える仲間集団を育てる。 ・命の大切さに気づき、正しい人権意識を持つ児童を育てる。
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりの特性（学習・生活・行動）を把握し、個々に応じた支援を行うことで、自立と社会参加に必要な力を養う。 ・児童一人ひとりが互いの違いを認め、支え合い、ともに育つ学級・学年集団を育てる。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、主体的に判断し、たくましく生きていく力と豊かな心を育む。 ・基本的な生活習慣の徹底と定着を図る。 ・物事の善悪に対して確実な判断力を身に付け、責任ある行動がとれる実践力を養う。また、児童自らが命を守る力を育てる。